

2014年(平成26年)

6月23日(月)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市天久905番地

©琉球新報社2014年

速報

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

平和へ誓い新た

戦後69年 沖縄全戦没者追悼式

遺族、普天間「県外」求める



沖縄全戦没者追悼式で正午の時報に合わせて黙とうする参列者＝23日、糸満市摩文仁の平和祈念公園

沖縄戦で犠牲になった20万人余の
 み霊を慰め、世界の恒久平和を誓う
 「沖縄全戦没者追悼式」が23日午前11
 時50分から、糸満市摩文仁の平和祈
 念公園で開催された。平和祈願慰霊
 大行進は午前9時に糸満市役所を出
 発し、南部の激戦地を回った後、追悼
 式に合流した。正午には参列者が黙
 とうをささげた。式には安倍晋三首
 相や伊吹文明衆院議長、山崎正昭参
 院議長のほか、キャロライン・ケネデ
 イ駐日米大使が出席した。

喜納昌春県議会議長は式辞で「オ
 スプレイの強行配備など幾度となく
 県民の民意は踏みにじられ、政府へ
 の不信と怒りは限界にきている」と
 述べ、米軍普天間飛行場の早急な閉
 鎖・撤去、沖縄の過重な基地負担軽減
 を政府に求めた。県遺族連合会の照
 屋苗子会長が追悼の言葉を述べ、普
 天間飛行場の県外移設を求めた。

安倍首相らの献花の後、仲井真弘
 多知事が平和宣言を読み上げた。ま
 た石垣市立真喜良小学校3年の増田
 健琉君が平和の詩「空はつながって
 いる」を朗読した。その後、安倍首相
 と伊吹、山崎衆参両院議長が来賓あ
 いさつした。

平和祈念公園には早朝から遺族が
 続々と訪れ、平和の礎に刻まれた戦
 没者の氏名の前で子や孫と共に花を
 手向ける姿や、石板に刻まれた肉親
 の名前を指でなぞる姿も見られた。

名前の刻まれた平和の礎に手を合わせるお年寄り 23日午前8時20分、糸満市の平和祈念公園



高江洲ヒ
 高江洲ミ
 金城カメ
 金城一郎
 金城五平
 金城要吉
 伊敷義孝
 伊敷光子
 仲村亀徳
 高江亀良
 高江バン
 高江信子
 高江美彦
 三浦清次
 吉一五郎
 吉ゴゼ
 吉キク
 吉明
 吉広子
 吉豊夫
 吉豊作
 金城カメ
 兼元豊平
 兼元カメ
 兼元栄太郎
 兼元豊子
 屋ギヨ
 屋清次

石碑に水を掛け戦没者を慰める親子 23日午前7時20分、糸満市米須



薄暗い壕の中で手を合わせて平和を祈る訪問者 23日午前10時31分、糸満市摩文仁の沖繩師範健児之塔近くの壕



平和を願い、魂魄の塔を参拝する人たち 23日午前7時39分、糸満市米須



平和の祈りを込め、一步一步踏みしめる平和祈願慰霊大行進の参加者 23日午前9時すぎ、糸満市役所前

第53回
 平和祈願慰霊大行進
 一般財団法人沖縄県遺族連合会 一般財団法人日本遺族会